

# 天皇・皇后両陛下 那須御用邸で ご静養

天皇、皇后両陛下は、7月24日から28日まで、ご静養のため那須御用邸に滞在されました。

24日正午過ぎ、小雨がぱらつくあいにくの天候にもかかわらず、JR那須塩原駅には約300人の住民が集まり、両陛下をお出迎えしました。到着された両陛下は、住民からの歓迎の言葉に笑顔で手を振って応えられていました。



お車まで歩かれる間、傘を閉じた皇后陛下をお気遣い、天皇陛下がご自身の傘を差し出す場面も見られ、お二人の仲睦まじいご様子が伺えました。

宇都宮からお出迎えのために那須塩原駅にきたという野尻幸子さんにお話を聞いたところ、毎年両陛下のご静養のお出迎えをしているそうです。「いつまでもお元気でいてほしいですね。退位後もぜひ那須御用邸に来ていただきたいです」と、天皇、皇后両陛下への想いを述べていました。

両陛下はこの後、那須塩原市寺子の花き農家、常盤好一さん宅を訪問なさいました。那須御用邸には、昨年7月以来の滞在となりました。

# 福田知事と話し合う「知事と語るうー」とちぎ元気フォーラムに那須」を開催



7月8日ゆめプラザ・那須を会場に、「知事と語るうー」とちぎ元気フォーラムに那須」が開催されました。

フォーラムには、町内外から100人を超える住民が参加し、「くらしのこと福祉のことこれからの『とちぎ』のこと」について福田知事と直接話し合いが行われました。

福田知事からは、「地域の課題を地域で解決するための組織を地域の人が立ち上げ、それを県が支援する仕組みをつくりあげたい」と思い準備を進めている。」との話があり、とちぎ元気発信プランに沿った県政の現状と取組みの説明がありました。

また、地元の活動報告として、芦野里づくりプロジェクトチームの大平夏澄さんからは、「里山の未来へ」をテーマに地域の子どもたちとの関わりや地域を維持するための取組みについて発表がありました。

フォーラム参加者との意見交換では、参加者から「これからの農業の振興」や「住みよい町づくりを実現するための県の対応」など、積極的な意見交換が行われ、福田知事から一つひとつ丁寧な説明がありました。



大平さん(左)と福田知事(右)